



戦間期日英帝国間貿易史

—アジア・アフリカを巡る「商品連鎖」—

目次

序章「商品連鎖」と二つの帝国

第1節 本書の課題—戦間期アジアの化学工業の発展と東アフリカ経済との連関

第2節 課題の克服への視座

第3節 本書の時代設定と構成

第1章 20世紀初頭のイギリス領東アフリカにおける植民地開発

第1節 植民地開発とコンゴ盆地条約

第2節 東アフリカの多国籍商人

第3節 マガジ・ソーダの国際市場への接続

第2章 日本とインドの化学工業化とマガジ・ソーダ

第1節 日本とインドの化学工業の黎明

第2節 第一次世界大戦と日本とインドの化学工業

第3節 1920年代の日本とインドの化学工業への「マガジ・インパクト (Magadi impact)」

第4節 1920年代末の日本とインドの保護政策とマガジ・ソーダ

第3章 日本とインドのガラス工業の国際競争と協調

第1節 日本とインドの近代ガラス工業の黎明と接続

第2節 第一次世界大戦と日本とインドのガラス工業の雁行的発展

第3節 1920～30年代のインドと日本のガラス製品貿易摩擦

第4章 環インド洋貿易と「アジア間貿易」の接続

第1節 ガラス製品貿易と中継点としてのインド

第2節 日本の新市場開拓と東アフリカ植民地経済

第5章 イギリス帝国タンニン剤産業と日本の皮革産業との連関

第1節 第一次世界大戦前のイギリス帝国経済圏のタンニン剤事業と日本の皮革産業の黎明

第2節 第一次世界大戦と日本の皮革産業および南米、アフリカのタンニン剤産業の変化

第3節 1930年代のイギリス領東アフリカのワットル栽培と日本の皮革産業との接続

終章「帝国間貿易」の残日

第1節 見えざる「第二環路」の拘束

結論

※章・節題は今後変更の可能性がります

循環する貿易構造が生み出す グローバルとローカルの連関

マガジ・ソーダという現在のケニアで産出された化学工業の原料に着目して、日本、イギリス領インド、イギリス領東アフリカの三地域にまたがる地域間貿易の形成と発展の過程を描いた力作。戦間期の日本経済史、インド経済史、イギリス帝国史それぞれの通説に見直しを迫る、最新のグローバルヒストリー研究の成果。

大阪大学名誉教授・秋田 茂

著者

玉村 紳 Tamamura Shin

1953年 三重県四日市市生

1972年 名古屋工業大学 計測工学科入学

1976年 国際ロータリー財団奨学生として

米国デトロイト工科大学情報工学科編入留学

1978年 名古屋工業大学 計測工学科卒業

1978年 (株) 電通国際情報サービス 入社

2014年 同社定年退職

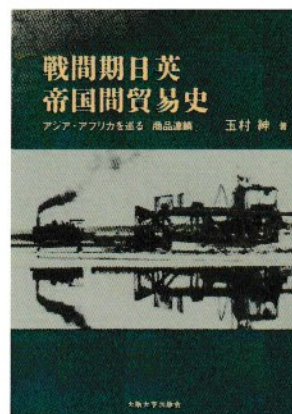
2015年 大阪大学 大学院文学研究科 博士前期課程入学

2023年 同大学院 博士後期課程修了 (文学博士)

書誌情報

2025年10月刊行予定 ISBN 978-4-87259-814-8

A5判・上製・232ページ 予定価格 4,500円＋税10%



【注文書】『戦間期日英帝国間貿易史』〈本チラシ限定送料無料で発送〉

本書は刊行後、全国の書店・ネット書店にてお買い求めいただけます。

当会に直接予約注文をご希望される方は、送料無料にて承ります。下記QRコードよりメールをお送りください。

別途カード決済のご案内をお送りいたします (カード決済が難しい場合は、郵便局振込も可能です)

刊行次第、送料無料で書籍をお送りいたします。

ご予約はこちらから▶



QRコードを読み込める機器をお持ちでない方は、
メール (eigyo@osaka-up.or.jp)
またはお電話 (06-6877-1614) でご連絡ください。
その際、「研究発表会でチラシを見た」とお伝えください。



大阪大学出版会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-7 大阪大学ウエストフロント | FAX: 06-6877-1617
TEL: 06-6877-1614 | <https://www.osaka-up.or.jp/> | E-mail: eigyo@osaka-up.or.jp